

株式会社 串カツ田中

市場	東証マザーズ	主要業績数値	2014/11	2015/11	2016/5
上場承認日	2016/8/10	(単位:百万円)	(直前々期)	(直前期)	(申請期)
上場予定日	2016/9/14	売上高	1,360	2,510	1,820
主幹事証券	大和証券	営業利益	166	201	139
監査法人	新日本監査法人	経常利益	176	267	187
URL	http://kushi-tanaka.co.jp/	当期利益	120	183	107
証券コード	3547	総資産	1,413	2,034	2,295
設立(創業)年月	2002年3月	純資産	317	501	609

●事業内容 (セグメント別・商品別。特に記載しない限り、数値は直前期。単位:百万円)

業態別情報	売上高				営業利益		※単一セグメントのため、セグメント売上・利益の開示はなし
	直前期	構成比	申請期	構成比	直前期	申請期	
① 直営店売上	1,864	74.3%	1,224	67.2%	—	—	
② FC商品売上	364	14.5%	401	22.0%	—	—	
③ FCロイヤリティ収入	186	7.4%	119	6.5%	—	—	
その他(全社費用含)	96	3.8%	76	4.2%	—	—	
合計	2,510		1,820		201	139	

- ・ 同社は、「串カツ田中」のブランド(同社副社長の父である故田中勇吉氏から味を受け継いでいる)で、大阪の伝統的なB級グルメである串カツ店を、関東圏を中心に展開している。店舗数は、2016/7時点で120店舗(直営46:FC74、関東圏103:関東以外17)、ここ3年ほどは年間25店舗のペースで増加しており、最終的には全国1,000店舗を目指すとのこと。
- ・ 当初は賃料を抑えることに主眼を置き住宅街に出店していたが、近年はFC化による展開拡大とともにターミナル駅・ビジネス街・繁華街・商業ビル内への出店により知名度を向上させるほか、全国展開を見据えロードサイドへのファミレス型店舗での出店も行っている。
- ・ メニューは、単品100~120円が中心で客単価を2,400円程度に設定している。客単価を抑えることで、景気変動に影響されにくい店舗運営を目指している。

●財務諸表より (特に記載しない限り、数値は直前期。単位:百万円)

現預金	842.7	仕入債務	207.9		直前々期	直前期	申請期
営業債権	85.4	営業債務	125.0	粗利率	75.4%	64.4%	59.5%
たな卸資産	14.7	有利子負債	972.7	営業利益率	12.3%	8.0%	7.7%
有形固定資産	517.8	未払税金	37.6	経常利益率	13.0%	10.7%	10.3%
資産合計	2,034.9	負債合計	1,533.3	当期利益率	8.9%	7.3%	5.9%

- ・ 総資産は20.3億円、現預金(8.4億円)、店舗関連資産(有形固定資産・差入保証金:合計6.5億円)が大半を占める。その他、賃貸用マンション(東京都:簿価3.1億円)を保有している。負債は、有利子負債(9.7億円:総資産の47.8%)、現金及び投資不動産が担保差入)など。
- ・ 売上高は、13.6億円(2014/11期:直営22店・FC45店)→25.1億円(2015/11期:直営36店・FC58店)→18.2億円(2016/5(2Q):直営45店・FC71店)と店舗数の増加に伴い増加している。なお、粗利率は減少傾向にあるが、直前期から開始したFC商品売上の影響であろうか。
- ・ 多店舗展開の事業であるため、不採算店舗の減損リスクが存在する。特損に計上された減損損失は、15百万円(2014/11期:1店舗)、10百万円(2015/11期:1店舗)、17百万円(2016/5(2Q):1店舗)。

●その他 (リスク情報、株式公開情報等より)

株主構成 (千株)	IPO前				IPO後				資金調達(目論見書発行価格)	
	議決権		潜在込		議決権		潜在込		公募調達額	903
代表取締役	580	48.3%	580	45.8%	468	32.2%	468	30.8%	売出現見込額	406
代取一族	560	46.7%	560	44.2%	560	38.6%	560	36.9%	時価総額	5,235
その他役員	60	5.0%	108	8.5%	60	4.1%	108	7.1%	役員構成	
従業員、従持会	0	0.0%	19	1.5%	0	0.0%	19	1.3%	取締役	6
VC	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	(うち社外)	(1)
その他株主	0	0.0%	0	0.0%	363	25.0%	363	23.9%	監査役	3
合計	1,200		1,267		1,450		1,517		(うち社外)	(3)

- ・ IPO前の時点において、代取一族で議決権の95%を保有しており(残りは副社長の田中氏)、公募・売後も7割強を保有し続ける見込。
- ・ 調達予定額は9億円、新規出店の設備投資資金に全額充当する予定(2016/11期 1.5億円、2017/11期 4.5億円、2018/11期 4.5億円)。出店コストは、1店舗当たり平均25百万円程度。
- ・ 直前期末において資本金が0.2億円と非常に少額。設立時資本金は3百万円であり、2011年に0.1億円、2014年に0.2億円への増資を行ってはいるものの、いずれにせよ非常に少ない自己資本で事業を展開していた。店舗展開資金をどのように調達していたのかは開示資料からは不明。
- ・ 代表取締役の100%保有会社(アメリカでの飲食業)に、同社からの貸付金が存在していた。直前々期末で貸倒引当金を計上し直前期に一部回収と債権放棄を行っているが、支配関係が解消されたことから、連結対象とはしていない(関連当事者注記はあり)。

© 網アカウンティング・アシスト(無断転載禁止) URL: www.accounting-assist.com E-mail: info@accounting-assist.com

※ご留意事項

本書は証券取引所のサイトにアップされた「上場申請のための有価証券報告書(Ⅰの部)」など、一般的に公表された情報を基に、新規上場予定企業の概要をお伝えすることを目的として作成しております。内容の一部作成者の私見が含まれることがありますが、投資行動への指図や投資勧誘を目的としたものではありません。また本書の作成誤り・事実誤認等により利用者に経済的損害が生じた場合も、これを補填する義務は一切存在しませんので、予めご了承ください。